



そば打ち体験（子供の国保育園）

◎主な内容

- 江府町の将来を語ろう会…………… 2～5
- 江尾診療所はこんなところ③… 6～7
- 町の話題…………… 8
- たんぼぼ学級閉講…………… 9
- とっとり花と緑のまちづくりコンクール表彰… 10
- スポーツ結果…………… 11
- お酒の飲み方…………… 12
- 保育園児募集…………… 13
- 図書館からのお知らせ…………… 14
- 情報コーナー…………… 15
- 行事あれこれ…………… 16
- 人の動きなど…………… 17
- チャレンジクッキング…………… 18

あなたの声を 町政に

10月15日から27日の間、町内4会場で
江府町の将来を語ろう会を開きました。
住民の方の意見を聞き、開かれた町政を目指します。
江府町の将来について、一緒に考えましょう。

行財政改革に 向けての取組方針

町は、次のとおり、段階的に行政改革に取り組んでいきます。

第一段階 (行政内部においては)

- ① あいさつ、仕事に対する姿勢などを評定する人事評定制度の導入
- ② 退職勧奨制度の創設
現状、管理職は五十八歳になった年度の、三月末で退職勧奨している。
- ③ 集中管理による物件費の削減
消耗品などの、一括管理・発注で経費の削減を行う。
- ④ 的確な定員管理の実施
定員数八十二名、現状七十六名。今後は、退職者に対して適正に採用をします。
- ⑤ 人件費の見直し
特別職 十%削減中
議員 五%削減中
職員 五%削減中
寒冷地手当は平成十六年度から支給しない。
出張旅費については、日常

の支給停止をしている。

第二段階(全町的には)

- ① 各種団体の負担金、補助金の見直し
一律の負担金、補助金の交付はしない。必要な部分に重点的に交付をしていく。

第三段階

- ① 公共料金などの検討、見直し
水道、下水道、ゴミなどの公共料金などの検討、見直しをしたい。また、町有地の貸付などにより、町財産収入の見直しを検討中です。

行政内部の改革をし、江府町まちづくり推進委員会で行財政改革の計画(案)を決定します。
その後、第三段階については、見直しをさうかどうか決定します。
また、二月から集落で語ろう会を開く予定です。

参加者からの 感想・提案

○一般町民の参加者が、あまりにも少ないのは残念です。せっかくこのような会を、催していただいたのに。こういった「江府町の将来を語ろう会」は、私の知っている町政では、初めての試みだそうですが、大変良い企画だと思います。色々工夫をこらしても、継続していただきたいと思えます。一人でも多くの町民の方が町の活性化に目を向けていただきたい。

○明確な町政、町づくりのこういう機会を、年に何回か計画していただきたい。

○今まで、このような場には、あまり参加したことがないので、わからなかった事が、町長さんをはじめ、行政の事などが、少しでも勉強できたので

参加者からの意見 (抜粋)

○町は、単独路線を選択した。「小さくても、輝きのあるまちづくり」を目指し、数か月が経過したが、行財政改革の道筋が見えたか。

(町) 市町村合併で来年四月には、町の中では江府町が一番小さい町になる。小さくても足腰の強いまちづくりをしたい。

十七年度予算編成に向けて、町の将来について政策を具体化するため、住民の声を聴く会をはじめた。

将来の財政シミュレーションの資料もあるが、道筋を示すことは、もうしばらく待つてほしい。

また、町有地の活用、企業誘致などにより、町の収入を増やす努力をしたい。

○負担金、補助金および、公共料金などの見直しにつ

いては、税負担が増加しないよう、サービスが低下しないようにしてほしい。

(町) 水道、下水道料金などについて、将来どれくらいが適当か、内部で話をしているところです。

これからは、住民にオープンにしていきたいと思えます。しかし、公共料金などに見直しは、行財政改革において、最後の手段である、と考えています。

○民間主導では、県や国の手続きなど、どうしても限界があり、行政主導が必要である。住民も参加はするが、自信と意気込みを持って、住民をリードしてほしい。

(町) 行政主導で、ということですが、過去の経験上、行政が支援をしているうちはよくても、行政が支援をやめるとダメになるケースが多くあった。

やはり、自分たちでやろうとする意識がないと、いくら支援しても意味がない。だから、行政と住民が一

福祉関係

○介護保険料を負担していますが、老健施設に江府町民が入れないのは困る。新しくできる老健施設は、町民優先でお願いしたい。

(町) 老健施設は、町が建設し、日野病院が運営して借金を返済していきます。計画では八十床ですが、シ



ョートステイを入れると実質は七十床でしょう。
百%約束は無理ですが、できるだけ努力すると言ったこと、了解していただきたい。

○一人暮らしで、免許もなく、交通手段に困っている。診療所へ出ても、昼まで待つなど時間に無駄が生じる。
日南町は循環バスを導入したが、町もできないか。

(町) 町内のバス運行は、二台で行っているが、もう限界にきている。
ダイヤなども含め、町営バスもすぐ検討したい。

定住対策

○行政を運営していくためには人口の確保が大前提。

今後、税収にもつながる人口の確保は、最低でも「現状維持」。
定住対策など、これ以上人口が減少しないような施策に、重点をおいてもらいたい。

(町) 若者の定住促進のため、町営住宅の建設を進めており

はないかと思えます。もっと時間が変わってれば、もう少したくさん参加出来たのではないと思えます。なかなか米子市方面など、勤務地が遠い人にとってはむずかしいと思えます。

○会場の設定がまずい。座談会方式が良い。

○全町民の、意見を聞く場とは言えない。神奈川地区で、四十名程度の参加では、町長の自己満足で、この会が開催されているのではないか。

○江府町の将来を語ろう会は、行政の新しい行政サービスの一つだと思います。身近な行政を行っていた、いただきたい。

○大変よかつたと思うが、やはり各集落の、行政座談会の方が、地域的な意見が出やすいと思えました。

○どういった事は、役場

一定の成果をあげている。今年度は佐川に二棟建設中。

定住対策では、空き家を利用する方法もある。その空き家を整備する場合、助成も考えたい。

また、住民が出資してアパートなどを建設する方法もある。

教育関係

○将来を考え語るならば、将来を担う子どもたちのことを考えて、いかに子どもを育てるかが大事。

その器作りを我々がしなければならぬ。

(町) 子どもにとって教育の環境が、どうしたら一番よいか、みんなで考え、「統合しましょうよ。」と、言う議論になったときに考えたい。いつの時点で、統合かは言えないが、行政が一方的にするのではなく、みんなで子どものためにお金を使おう、と言う議論に盛り上げたい。



(町) 町の特色は、自然と資源が豊富にあることです。

でも、町民の参加と行動が欠けていると思う。

現在、町内には個々に頑張っている集落がある。個々に輝くのではなく、ネットワーク化していくことも大事です。

また、派手にすることよりも、こつこつやるのも方法かと思う。

○町内には、カサラファーム・かまこしき溪谷など、観光所はたくさんあるが、町民は意外と知らない。

町民が知らないところに、観光客がくるだろうか。

俣野川溪谷ツアーは、町民が町内の観光地を、知るチャンスになっている。

まず、等身大の町の良いところを、見つけるところからはじめたらいいと思う。

○地産地消の問題ですが、米子で町の米を農家が販売していたので、お客さんの声を聞きました。

佐川、小江尾、美用、宮市などの方が販売されていると聞き、それぞれの方が結構頑張られていると思いました。

だから、町内の皆さん方が生産した、生産物の販売にも力をいれていただきたい。

農家の方も、高齢化が進んでいます。作れば売れるこだわり野菜、付加価値のある

生産物を。

(町) 参加と行動ということ、従来は行政が仕掛け作りをしていました。

これからは、皆さんにチャレンジしていただきたい。行政は環境作りや後押しはします。

みなさんから、やる気のあたる要望などがあれば、行政はそれに対し、支援をします。

そうすることで、生産者、消費者が、喜んでいただける。そういうこともある。

会場別参加人数

会場	参加人数
山村開発センター	33人
米沢小学校	19人
明倫小学校	40人
俣野小学校	33人
合計	125人

に聞けるのか、役場がやってくれるのか、よくわかっていません。一部の人達は、役場をうまく利用しているかもしれないが、もつと機能を町民にわかりやすく、PRすべきだと思います。ここに、町の職員と町民との溝があるように思います。

○小さくても、元気な町づくりが町の柱ですが、その中心となるのは、やはり人づくりだと考えます。特に将来に、大きな夢を持つ、子どもの支援が、大切だと思います。子どもの夢を広く支援し、等しく育てていくことが今、元気な町づくりに一番必要だと思えます。

○行政で、行われる行事が重なったり、課どうしの協力が出来てない様に思う。

○あいさつも必要であるが、行政はある意味のサービスマスターであると思うので、笑顔も必要かと。

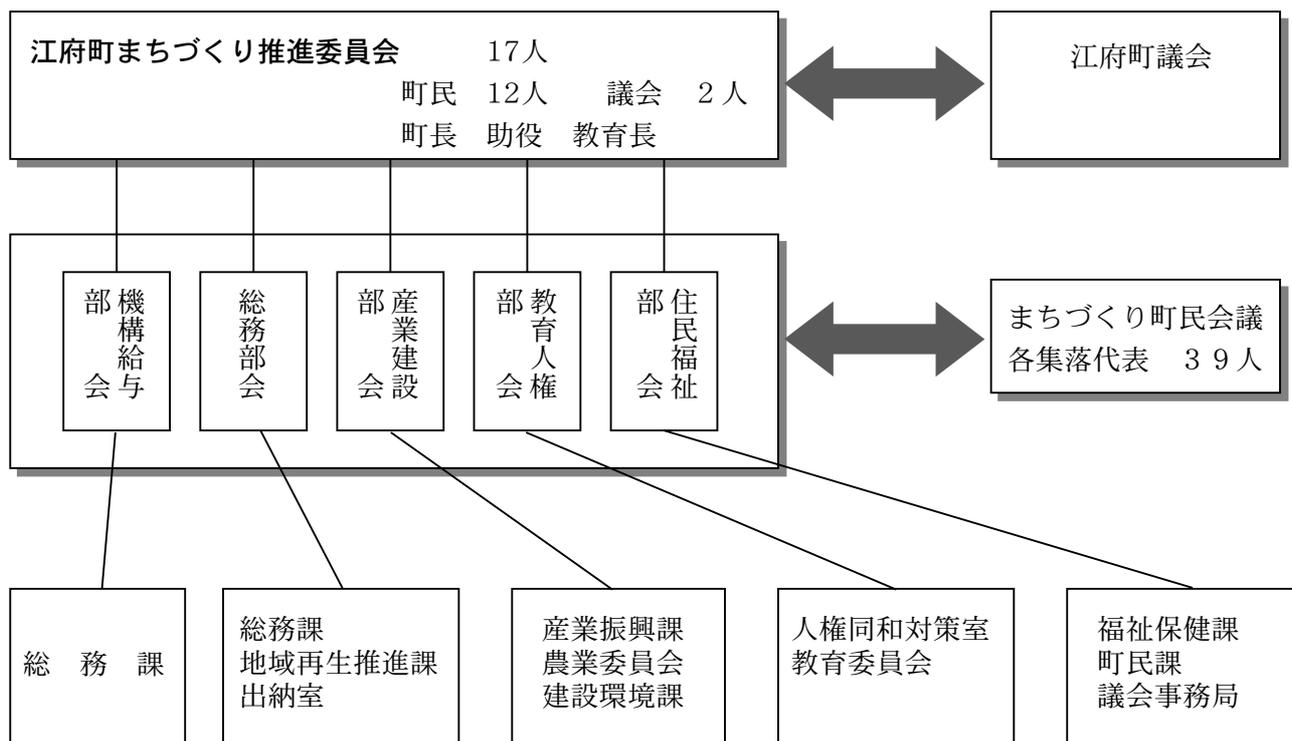
まちづくり推進委員会設置

町民参画による、まちづくり推進委員会を設置します。

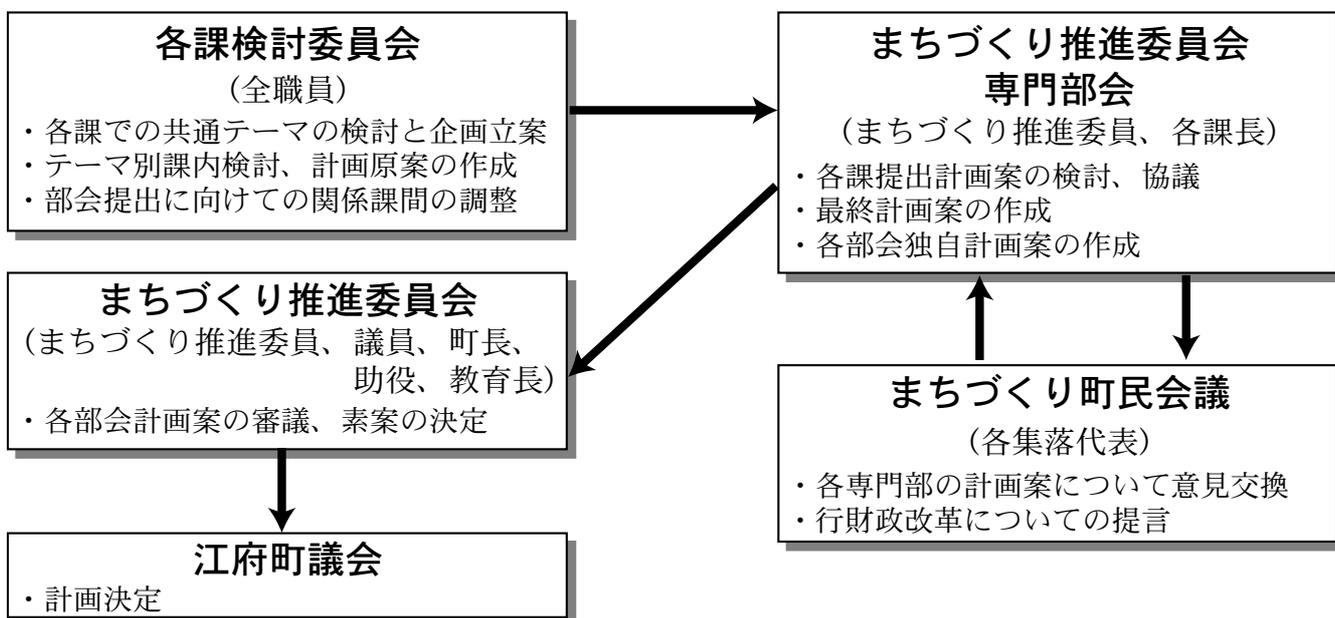
これまでの、行政主体での改革ではなく、住民みなさんの意見を聞き、住民・行政一体となって、改革を進めるために設置します。

推進委員会の内容、改革の進め方については、次のとおりです。

テーマ：小さくても元気で明るく輝くまちづくり



行財政改革の進め方



インタビュー

予防は家族ぐるみ 地域ぐるみで

「診療所はみなさんの健康を守る砦です」



▲「江府町の病気の傾向について語る」武地・木谷医師（健康福祉まつり）

「江尾診療所はこんなところ」と題して三回シリーズで掲載してきました。このたび、最後として予防について、お話いただきたいと思っています。

（武地）予防には、ふたつの意味があります。

ひとつは、日ごろから病気になるないように努めること、例えば、スポーツをするとかうがいをする、予防接種を受けるなど、このことを一次予防といいます。

もうひとつは、住民検診を受けて、自分自身の健康度をチェックし病気を発見した場合、早めに治療を行うこと、これを二次予防といいます。多くの方は、病気が個人のことと思ってしまいがちです。例えば、生活習慣病などは個

人の努力も当然必要ですが、生活習慣そのものに病気の原因のある生活習慣病は、食生活をはじめとする生活全体の点検が必要であり、家族ぐるみで取り組まなければ解決で

きない点が多くあります。また、家族だけでなく、地域全体として、健康を守る努力があつてこそ、予防できることもあります。

検診データは宝物です ”県下トップクラスの検診内容”

次に、住民検診についてですが、江府町は住民検診の内容は、鳥取県のトップクラスにあると自負しています。

しかも、他町と比較して検診料も安く設定してあります。何がトップレベルにあるかといえば、胃がん検診の中にPG検診（胃の老化を測定する検診）を取り入れ、一人ひとりの胃がんの危険度を判定した上で、胃がん検診を実

施しています。

また、乳がん検診に早くからマンモグラフィ（レントゲン検査）をとり入れてい

しかも、この総合健康福祉センターで集中して検診を行うために、一度に多くの検診ができる点にもあります。

行政がこれだけ、住民の皆さんの健康に力を入れているところは私の経験の上からも

ありません。

また、住民検診のあとで検診のデータをもとに結果説明会をしています。

特に、検診データを健康手帳にはりつけ、前年のデータと比較して、自分自身の健康

チェックや生活状況を振り返

つてみる機会にしてほしいと思います。

検診データは自分自身の宝であると思っていたきたいと思っています。

アメリカでは、歯の神経抜いて、かぶせして、なんと30万円!?

（木谷）歯の予防についてですが、その前にアメリカの歯科治療などの状況について、お話してみたいと思います。

アメリカでは、歯の神経を抜いて、かぶせをすると二十万円から三十万円かかります。（日本では、約八千円）これは、保険制度の違いもありま

すが、大人になってから高額な費用をかけるのではなく、子どものころから糸ようじを使ったりして歯をきれいにしています。つまり、痛くなつてから治療するのではなく、痛くなる前に口の中を歯科医院で掃除する習慣が身につけています。

アメリカ人は、日本人に銀歯が多くあることに大変おど

ろくそうです。

さて、生まれたばかりの赤ちゃんには、むし歯菌はありません。なぜ、むし歯になるのかといえば、例えば、赤ちゃんに何かを食べさせたりする時、一旦、自分の口の中で、かみくだいて上げることがあります。

その時、両親など口の中が不衛生であれば、口の中にあるむし歯菌がうつってしまうのです。だから、家族の内での口の中をきれいにする習慣をつけることが大切になってきます。

予防を年代でみると、次のことがいえます。

二十代までは糸ようじなどを使って歯をきれいにする習

慣をつけること。三十代からはむし歯予防だけでなく歯周病の予防に努めること。六十代以上は、特に入れ歯をしている方は、毎日、入れ歯をはずしてみがくことが大事。入れ歯のことですが、入れ歯が合わなくて、そのままにしていると入れ歯をささえる骨が吸収され、さらに合わなくなり、がまんせずに調整することが必要です。



▲歯科の展示（健康福祉まつり）

医学の道に進んだ きつかけなどインタビュー

「さて、最後に両先生がこの医学の道に進むきっかけや医学の道での分岐点があったらお話をください。」

（木谷）実は、私が受験生の時に母が胃がんでなくなりました。その時、もし、自分が医師だったら、何とかしてやれたのよとの思いがありました。

それから、いろんなことがあり、今の歯科に進みました。鳥取大学にきたのは、母のがんのこともあり、口腔外科で歯科だけでなく、いろんな勉強もしてみたかったから

でした。

まさか、鳥取大学からこの診療所にくるなんて、思ってもいませんでした。

新しい歯科診療所で精一杯できることは、今本当に幸せです。これからは、皆さんの歯を守るため頑張ります。

（武地）私は江府町に来る前は大腸カメラの専門医として九州で仕事をしていました。

毎日お尻とその奥の大腸だけを診る仕事を何年も続けていくうちに、むなしさを感じ、からだ全体を生活する場で支

えていく地域医療医を目指して、江府町にきました。地域医療を目指すことになった理由は、特に学生時代に地域医療をテーマに勉強するサークルに入り、ここで研究するうちに地域住民の健康・予防・病気の原因などに興味をもち、先輩のすすめもあり、このみちに入ったわけです。毎年夏には、このサークルの後輩たちが江府町で実習をしますが、私もこの後輩たちと活動しいろいろ話をすることがとても楽しいです。

これからも、住民の皆さんの健康を守る砦としての診療所で頑張ります。

「大変、貴重なお話ありがとうございました。このたび、診療所について三回シリーズで町報に掲載しました。」

町民の皆さんのご意見、ご感想をお待ちしています。

お送り先

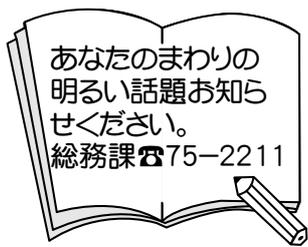
江府町江尾二〇八八一三

江府町福祉保健課

FAX 0859-7516161

メールアドレス

kenko@town-kofu.jp



町 の 話 題

第九回県境サミット圏域囲碁大会が、十一月二十八日、山村開発センターで開催されました。

これは、自然豊かな、中国山地の緑の輝きの中で、囲碁を通じて、文化の交流と親睦を図り、地域の連帯感と活力を高めるため、始められました。

当日は、八市町から百人の参加で行われました。

参加者は、優勝を目指し、真剣に碁盤を見つめ、先の一手を考え対戦をしています。

真剣なまなざしで



好評でした

物産販売

十一月十四日、神戸市東灘区魚崎町で、物産交流会をしました。

みちくさ推進会議、特産品振興会、農事組合法人宮市、農協の関係者八人が参加。物産の販売を通じて交流を深めました。

今回は全国的に野菜不足で、野菜の高値もあり販売開始前から長蛇の列ができていました。

白菜、キャベツ、大根、白ねぎが、飛ぶように売れるなど、三時間の販売予定が、一時間半でほぼ完売となりました。

また、江府町と魚崎町の、今後の交流の方法についての意見交換もし、両町にとって意義深い一日となりました。

総合体育館で十一月四日、第二十五回江府町高齢者スポーツ大会が開かれました。

老人クラブ連合会と明徳学園学生自治会が合同で行っているものです。

七チームに分け、六種目の競技で順位を競いました。

競技の中には、子供の国保育園園児の参加の競技もあり、みなさん楽しく体を動かしていました。

いきいき体を動かす



平成十六年度「たんぼぼ学級」閉講

人権・同和教育推進の 担い手をめざして!!

九月から始まった今年の「たんぼぼ学級」も、十一月二十五日の日の講座をもって終了いたしました。

今年も延べ参加者数三百八十八名と、たくさんの方に参加していただき、充実した学級になりました。

たんぼぼ学級も講座の実施にあたっては工夫を凝らして計画しておりますが、今年も部落差別を始めとしてあらゆる人権問題について学習するよう心がけ、毎回の講座の後半に話し合いの時間をもち、



第2回講座

その日の内容について意見交換をしながら学習を深めていく形をとりました。

第一回目は県人権教育アドバイザーの足羽隆さんにお話をいただき、明治時代に学校へ通うことのできない地区の子供たちを、出井富五郎・田中儀太郎という方が、共に東奔西走し、ついには子供たちを学校へ通わせることができたという、日南町の実話を紹介され、厳しい差別の実例を



第3回講座

学びました。

二回目の講座は、仲嶋真道さん・村上真由美さんに江府町の部落差別に関わる歴史について、体験を交えてお話しいただきました。

三回目の講座では、「クラウディアからの手紙」というドキュメンタリー番組を見ながら、日本海テレビの総務部長である古川重樹さんに番組制作や取材の様子をお聞きし、戦争によって引き裂かれた人の絆の強さについて学習しました。



第6回講座

四回目は「アフガン零年」という映画を見ながら、アフガニスタンの現実と戦争の悲惨さについて知ることができました。

五回目の講座は、町内の人

権教育の取り組みを知るということで、明倫支部、保育園保護者会、中学校PTAの皆さんに発表をしていただきました。

第六回では鳥取県人権教育アドバイザーの相見楓子さんに、「子供の人権を守ることは大人の責任」をテーマに、子供たちに多くの体験の機会を与えることが必要で、そのためには大人達ががんばって手助けをしていくことが必要ということでした。

最終講座では一回から六回までの講座の総まとめとして、「たんぼぼ学級」で何を学んだかを話し合い、「知ることを大切さ」「あらゆる差別は差別をする人の問題」「部落差別の事例の教材化」「一つのことを考えるとき、多くの視点を持つこと」の四点が導き出されました。

「たんぼぼ学級」は、だれでも参加できます。次回はあなたも参加してみませんか。

平成16年度「たんぼぼ学級」テーマ

回	期日	テーマ	講師
1	9月2日	差別の壁を乗り越えて	県人権教育アドバイザー 足羽隆
2	9月16日	部落差別の今と昔	仲嶋真道 村上真由美
3	10月7日	クラウディアからの手紙	日本海テレビ総務部長 古川重樹
4	10月14日	映画「アフガン零年」	(映画上映)
5	10月21日	同推協の活動報告	明倫支部・保育園保護者会、中学校PTA
6	11月11日	子供の「人権」を守ることは大人の責任	県人権教育アドバイザー 相見楓子
7	11月25日	意見交流会	参加者協議

みんなで話し合い学習を深めました



とつとつ花と緑の

まちづくりコンクール

米沢小学校が県教育長賞を受賞！

十一月三十日、米子市のビッグシップにおいて「第二回とつとつ花と緑のまちづくりコンクール」の表彰式が開催され、米沢小学校が学校部門において、知事賞に次ぐ「鳥取県教育長賞」を受賞しました。



コンクール表彰式

学校部門は学校花壇の美しさを中心に審査されます。米沢小学校では今年、児童が種まきから始めて、プランターや鉢にマリーゴールドや百日草、けいとうやペゴニヤなどの花を育て、江府町内の公共施設にプレゼントする「花

のあいさつプランター」活動、夏に家庭で世話をする「花のあいさつボランティア」活動、地域の人が学校の花に鉢を提供して協力する「花の応援ボランティア」活動など、学校と家庭・地域をつなぐ「花のあいさつ運動」を進めてきました。

コンクールに応募した学校の取り組みの中では異色の活動でしたが、花づくりをとおして地域社会との連携を深めようとする姿勢が評価されました。



米沢小の「花のあいさつ運動」

小学生の学習発表会

十一月二十日・二十一日の両日、町内の各小学校で「学習発表会」が開催され、児童たちは合唱や児童劇など練習の成果を元気に発表しました。会場には大勢の家族や近所の方たちが訪れ、児童たちの熱演に大きな拍手を送っていました。



江尾小5・6年の合奏



江尾小6年の劇「まぬけ村物語」



米沢小6年「朗読劇」



明倫小3～6年の合奏



米沢小1年の劇「かっぱわくわく」



俣野小「銭太鼓」



俣野小5・6年「どん助とよめっこ」



明倫小1年の劇「おぼけじぞう」

新しい

「教育相談員」さんが決まりました。

十二月一日付で俣野の加藤隆子さんが新しい教育相談員として任命されました。

教育相談員は、いじめ問題や不登校等子ども達を取り巻く問題の解決のため児童、生徒、教職員、保護者等からの相談にあたるものです。

教育相談室は、原則として毎週木曜日に開設されます。

場所は教育委員会事務局の二階です。

悩みごとや相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

電話 七五―三九三九



真剣に、楽しくプレー!

第43回 江府町卓球大会

(地域・小学生の部)

11月7日(日)、江府町運動公園総合体育館で、第43回江府町卓球大会が、地域の部と小学生の部に分かれて行われました。今年小学生の参加が多く、最後まで目のはなせない試合展開が数多くありました。

また、一般の方も真剣さの中に楽しくプレーされる様子が見え、盛り上がりを見せていました。

各部門の結果は次のとおりです。

小学生の部	個人男子	優勝	遠藤 和幸 (俣野小)
		準優勝	須藤 大貴 (俣野小)
		3位	梅田 啓太 (米沢小)
			澤口 尚平 (米沢小)
	個人女子	優勝	須藤 瑞貴 (俣野小)
		準優勝	梅林 麻衣 (明倫小)
		3位	宇田川莉奈 (明倫小)
			伊達 未悠 (米沢小)

地域の部	団体	優勝	小江尾Aチーム
		準優勝	佐川チーム
		3位	小江尾Bチーム
			明倫ヤングマーズ
個人	一般男子	優勝	岡田 晃一
		準優勝	下村 純也
		3位	篠田 邑也
個人	一般女子	優勝	宇田川佳子
		準優勝	川上 祥子
		3位	南波 恵美
個人	セミニア野	優勝	奥田 恭祐
		準優勝	篠田 成一
		3位	宇田川哲也
個人	フリー	優勝	加藤 睦夫
		準優勝	清水 和也
		3位	森田 稔



新春町民マラソン
大会のお知らせ

第二十八回を迎える恒例の新春町民マラソン大会が来年一月四日(火)江尾駅前広場で開催されます。

コースは例年のとおり、新町通りと本町通りを走ります。参加希望の方は、十二月二十日までに教育委員会へお申し込みください。

(種目)

継走の部

チーム編成は一チーム四人
一人が一・五kmを走ります
中学生男子・女子、一般の部

個人の部

幼時の部	一	km
小学校低学年男子	一	km
小学校低学年女子	一	km
小学校高学年男子	一・五	km
小学校高学年女子	一・五	km
一般男子	三	km
一般女子	一・五	km

今年も、温かい「だんご汁」を用意します。

お酒を飲む人が百薬の長としよう

適量を飲んで百薬の長としよう

十二月〜一月にかけて、お酒を飲む機会が多くなります。

皆さん上手にお付き合いしていますか？

お酒は、適量であれば、「百薬の長」となります。飲みすぎると、肝臓や胃腸などに負担をかけることにもなります。

江府町の飲酒の状況

つぎの表は、今年の住民健診を受けた方の方の、飲酒の状況を表したものです。

男性では健診受診者の半数が、女性は一割の方が、毎日飲酒をされています。

飲酒している男性の一日の飲酒量をみると、二合以上の方が三割あります。

お酒を飲む人の飲酒 1日の量

区分	1合未満	2合未満	2合以上
男	27人	75人	41人
女	26人	13人	2人

飲酒の状況

区分	毎日飲む	時々飲む	飲まない
男	145人	48人	106人
女	41人	62人	385人

■適正飲酒とはこれくらい……

(純アルコール量20gの目安)

WHO(世界保健機関)では「飲酒は少なければ少ないほどよい」と提言しています。



ウイスキー 20g(1杯) ワイン 20g(2杯) 日本酒 20g(1合) ビール 20g(中瓶1杯)

お酒の適量は、では、お酒の適量はどのくらいでしょうか。アルコールを分解する能力は、人によってそれぞれ違います。日本人の、平均的なアルコール代謝能力は、一日平均純アルコールで、約二〇g程度だとされています。しかし、この量はあくまでも目安です。だれにでも、当てはまるわけではありません。自分の適正量をまもりながら、楽しいお酒にしたいものです。

お酒の適量は

では、お酒の適量はどのくらいでしょうか

アルコールを分解する能力は、人によってそれぞれ違います。

日本人の、平均的なアルコール代謝能力は、一日平均純アルコールで、約二〇g程度だとされています。

しかし、この量はあくまでも目安です。だれにでも、当てはまるわけではありません。自分の適正量をまもりながら、楽しいお酒にしたいものです。

未成年者は絶対禁酒

アルコールは、若い時期に飲みはじめるほど依存性が高くなり、危険と考えられています。

しかし、未成年者が飲酒するきっかけは、親が勧めたという例が意外と多いのです。

子どもの将来のために、お酒は成人になるまでは、絶対に勧めないでください。

知っておきたい

お酒のマナー

お酒の席を楽しく過ごすために、知っておきたいのがお酒の席でのマナー。これだけは覚えておきましょう。

1 無理にすすめない



飲めないうちからお酒を勧めるのは、とても悪いことです。急性アルコール中毒を起こす危険が高いのです。

2 断るときは笑顔ではっきり



飲めないうちから断るのではなく、笑顔ではっきり断りましょう。そうすれば人間関係のひずみは少ないです。

3 飲んだら車両の運転はしない



お酒を飲んだら車を運転しては、絶対にダメです。飲酒運転は重大な交通事故の原因になりますので、絶対にやめましょう。

平成17年度

子供の国保育園園児募集!

入園案内

○入園対象児
家庭で保育に欠ける
就学までの児童

○募集定員 百五十名

○開所時間

午前七時四十分から
午後六時まで

(土曜日は午後一時まで)

○通常保育時間

午前八時から午後四時まで
(土曜日は正午まで)

○入園説明会予定日

二月十日(木)
(場所 子供の国保育園)

○保育料

保護者の平成十六年中の所得、税額などにより決定します。

○その他

・障害児保育を行っていますので、相談ください。

・他の市町村からの、児童の受け入れを行っています。希望の方はお知らせください。
・同一世帯内児童の、同時入園の場合や、多子世帯の児童入所に対して、町・県により保育料の軽減を行っています。

保育内容など詳しく知りたい方は、遠慮なく保育園に問い合わせください。

申込み・問合せは
子供の国保育園

☎七五二七〇四

役場福祉保健課

☎七五一六一一

体験入園を左記の日におこないます。

2月18日(金)



献血にご協力ください

皆さんのご協力をお願いします。

経験がある場合に限りです。

○必要なもの

・献血手帳
(献血経験のある方)

○時間および場所

・九時～九時五十分／鳥取西部農協江府町支所前

・十時二十分～十一時／総合健康福祉センター横

・十二時～十三時／日野建設業協同組合ブロック工場前

・十三時三十分～十四時三十分／チロルの里特別養護老人ホーム前

・十五時二十分～十六時二十分／休暇村大山鏡ヶ成新館前

○献血のできる方

(全血献血二百ml・四百ml)

・年齢 十六歳～六十九歳
(四百mlは十八歳から)

・体重
二百ml 男 四十五kg以上
女 四十kg以上

四百ml 五十kg以上

※六十五歳以上の方は、六十歳～六十四歳までの間に献血

○献血手帳

・本人の確認ができるもの
(運転免許証・保険証など)

※初めて献血される方・過去献血された方で本人の確認ができるものを提示いただいていない方のみ必要となります。

○その他

・献血には十分～十五分程度かかります。

・献血された血液は、肝機能検査、コレステロール測定、総たんぱく量測定

などの検査を行い、献血者全員に検査結果を通知しています。

・当日、医師の診察により異常の認められなかった方のみ採血をします。

○問い合わせ先
役場福祉保健課

☎七五一六一一

図書館からのお知らせ

おすすめの本

天使のかいかた

なかがわ ちひろ

ようちゃん、あなたはイヌ、かなちやんはネコ、たかしくんはハトをかつている。でも私はなにもかつてもらえない。ところがそんなある日、さちが原つばでひろつたものは…小さな天使！だけど天使ってどうやってかつたらいいの？



巣鴨プリズン13号鉄扉

上坂 冬子

巣鴨プリズンの13号鉄扉をくぐり、刑場の露と消えたB級戦犯は52名。名もなき庶民たちはなぜ裁かれたのか？そして残された遺族たちの戦後とは？戦争裁判の実態を明らかにし、いまアメリカの正義を問う。



8月の果て

柳 美里

走ることが生きることだったはずの祖父は、なぜ競技も国も家族も捨て、独り日本へ逃れたか。作者の祖父の生きた時代を、そして自らのルーツをたどり直すことで、その答えを探し求める。幻の五輪マラソンランナーだった祖父の生涯を追いながら、戦前から現代に至る朝鮮半島と日本の葛藤をえぐり出す。



ダ・ヴィンチ・コード(上)(下)

ダン・ブラウン

ルーヴル美術館長が館内で死体となって発見された。死体は、ダ・ヴィンチの最も有名な素描を模した形で横たわっており、死体の周りには、複雑怪奇なダイニングメッセーじが残されていた。(モナ・リザ)《岩窟の聖母》…数々のダ・ヴィンチ絵画の謎が導く、歴史の真実とは。



はらぺこゾウのドッチくん

(絵) 亀田寛人
絵・文 玉井 詞

象のドッチくんは、食べるのが大好き、おなかをすかせたドッチくんがあるいていると、バナナ、リンゴ、イチゴ、メロン…、とおいしそうな食べものが次から次へと現れます。モノクロの象と鮮やかな果物や野菜が、印象的な絵本です。この絵本は米子市在住の絵本作家、玉井詞さんと米子市の知的障害者更正施設もみの木園の入所者、亀田寛人さんが共同制作した作品で、障害がある人とプロのコラボレーションは、全国でも例がありません。亀田さんは、江府町の出身で、1995年より、もみの木園で創作活動を開始し、2001年には、第4回「地球のみんなのアートフェスタ in 北九州」に入選するなど活躍しておられます。本をご覧になりたい方は、江府町立図書館にありますが、お問い合わせ下さい。



新着本のご紹介

〈文学〉

○アフターダーク

村上 春樹

○ラッシュライフ

伊坂幸太郎

○介護入門

モブ・ノリオ

○人間の証明21st Century

森村誠一

○ダ・ヴィンチ・コード(上)(下)

ダン・ブラウン

○幻覚

渡辺 淳一

○億万ドルの舞台

シドニー・シエルダン

○生きながら火に焼かれて

スアド

〈その他〉

○熱情〜田中角栄をとりこにした芸者

辻 和子

○野中広務・差別と権力

魚住 昭

○九一歳の人生論

日野原重明

○海峡を渡るバイオリン

陳 昌鉉

○夫婦をゆがめる「間取り」

横山 彰人

○砂漠でみつけた一冊の絵本

柳田 邦男

毎月、第3日曜日は家庭の日です

◎あいさつをしよう ◎はきものをそろえよう

青少年育成江府町民会議



行事あれこれ

12月

都合により、日程が変更される場合があります。

1月

日曜日	行事名	場所	時間
13月			
14火	ガーデニング講座	山村開発センター	19:00~
15水	籐細工教室(広域隣保活動) 巡回文庫3区	明道館	19:30~
16木	明德学園 補聴器修理相談会(トーション) 太極拳講座	山村開発センター 総合健康福祉センター 日輪閣	9:00~ 13:30~15:00 19:30~21:00
17金	歯科健診・フッ素塗布 全血献血(200ml, 400ml) おたのしみ会 はつらつ実践運動教室	総合健康福祉センター 町内 子供の国保育園 総合健康福祉センター	9:00~ 9:00~16:20 9:30~ 14:00~16:00
18土	子どもキッチンクラブ 和紙折り紙教室 習字教室(広域隣保活動)	明道館 山村開発センター 明道館	9:00~13:00 10:00~ 13:30~
19日			
20月	高血圧・高脂血症・糖尿病予防教室 水墨画講座 補聴器修理相談会(中国)	山村開発センター 山村開発センター 総合健康福祉センター	13:00~16:00 13:30~ 14:00~16:00
21火			
22水	クリスマス会 中学校終業式	子供の国保育園 中学校	10:00~
23木			
24金	小学校終業式	各小学校	
25土			
26日			
27月			
28火	生花教室(広域隣保活動)	明道館	19:00~
29水			
30木			
31金			

日曜日	行事名	場所	時間
1土			
2日			
3月			
4火	新春町民マラソン大会	江尾地内	9:30~
5水			
6木			
7金			
8土			
9日	成人式	山村開発センター	9:00~
10月			
11火			
12水	じゃりんこらぶ(ふれあいデー)	子供の国保育園	10:00~
13木	高脂血症予防教室	総合健康福祉センター	13:00~16:00
14金	はつらつ実践運動教室	総合健康福祉センター	14:00~16:00
15土			
16日			

江府町特産物直売所

みちくさ「晦市」

お正月にかかせない「お餅」「しめ縄」
新鮮野菜盛りだくさん!!

開催日時 12月27日(月) 午前9時~午後5時
場所 江府町特産物直売所 「みちくさ」(佐川)
特典 来場者にはとれたて野菜たっぷりの
美味しい豚汁大サービス
問い合わせ先 佐川「みちくさ」電話75-2032

笑顔がある 出会いがある 夢がある
みちくさ会員募集中

●広域隣保活動の教室参加希望者は本五集会所(☎75-2624)へ連絡してください。

求人募集

12月分

求人事業所名	所在地	職種	年齢	賃金	就業時間
藤田商事	武庫116-1	ダンプ運転手	不問	220,000~240,000	8:00~17:00
社会福祉法人寿耕会(千刈の里)	久連7	看護師(正・准)	不問	1,100~1,200(時給)	8:30~12:30 8:30~17:30
社会福祉法人寿耕会(千刈の里)	久連7	理学療法士	不問	211,600~234,000	8:30~17:30
社会福祉法人寿耕会(千刈の里)	久連7	看護師(正・准)	不問	150,000~200,000	8:30~17:30
休暇村大山鏡ヶ成	御机709-1	レストラン係	18~28	148,500~164,100	6:30~15:30 11:00~21:00 6:30~21:00
(株)日野リース	佐川749-1	作業員	18~40	120,000~200,000	8:30~17:00
江尾貨物自動車(有)	佐川1002-1	クレーンオペレーター	21~55	140,000~180,000	8:00~17:00
藤田商事	武庫116-1	中距離運転手	28~46	210,000~250,000	8:00~17:00

(男女雇用機会均等法の改正により、性別を問う求人募集は原則禁止となりました。今後お知らせする求人は全て男女不問です。)

●求人情報に関する問い合わせ先 **米子公共職業安定所根雨出張所(TEL72-0065)**

※町報掲載時まで、充足済等により求人が取り消しとなっている場合がありますのでご了承ください。

人の動き

11月届
(敬省略)

◎お誕生おめでとう

(住所) (氏名) (性別) (保護者)
新道 花井ひなの 女 泰子

◎ごめい福を祈ります

(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)
吉原 砂口 満枝 92歳 毅
久連 大島 正明 76歳 本人

おわびと訂正

「11月号の人の動き」欄で間違いがありました。関係者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたこと、おわび申し上げます。次のように訂正いたします。

川上裕希さん → 河上裕希さん
小倉 功さん → 小倉 巧さん

交通事故

交通事故発生状況【町内】

人身事故 2件 (11)
死者 0人 (1)
負傷者 2人 (12)
物損事故 12件 (122)

飲酒運転検挙者数【町内者】

0人 (1)

11月中のまとめ () 内は平成16年間累計

交通死亡事故ゼロ継続日数

213日 (12月1日現在)



火災



火災ゼロ継続日数

231日 (12月1日現在)

道路交通法改正について

11月1日から走行中の携帯電話などの使用に対する規制、罰則が強化されました。

○対象

自動車または原動機付自転車を運転中、

- ・携帯電話、トランシーバー型無線機などを手に持って通話のために使用すること
 - ・携帯電話のほか、携帯型ゲーム機などを手に持って、メールのやりとりやゲームなどをすること
- は、即違反となり、罰金、反則金、違反点数の対象となります。

○罰金 5万円以下

○反則金 大型車7,000円・普通車6,000円
二輪車6,000円・原付車5,000円

○違反点 1点

○除外

- ・ハンズフリー装置を併用して携帯電話を手に持たずに使用する場合など

*走行中は、電源を切るか、マナーモードでの使用をお勧めします。



「日野総合事務所へのご意見、ご提案について」

日野総合事務所では日野郡住民の皆さんの声を施策に反映させていくため、皆さんが地域や職場、家庭で気づかれた県の行政についての意見・提言・アイデア・要望・苦情などを募集しています。

皆さんから寄せられた声は、日野総合事務所から本庁へ伝えますので、是非ご意見を聴かせください。

ファクシミリ・メールでもお受けします。

ファクシミリ 0859-72-2072

メールアドレス hkenminkyoku@pref.tottori.jp

日野総合事務所県民局県民課
電話:0859-72-2083

今月の国民年金

納付期限

12月分
平成17年1月31日まで

社会保険事務所から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。

なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

現況届を提出しないと、年金の支給が一時ストップします。必ず提出しましょう。

毎年誕生月の月初めに社会保険業務センターから現況届の用紙(はがき)が送付されます。

必要事項を記入の上、誕生月の末日までに投函してください。

もし紛失された場合には、役場に用紙がありますのでご連絡ください。

役場町民課(☎75-3223)

飲酒運転の撲滅

平成13年の道路交通法改正により、飲酒運転に対する罰則が強化されましたが、依然として飲酒運転が後を絶ちません。お酒を飲んで車を運転すると、酔っていないと感じていても、自制心や判断能力、運動能力などが低下し、交通事故を起こしやすくなります。

これからの年末年始を迎え、忘年会や新年会など、お酒を飲む機会が増えてきますが、お酒を飲んでの運転は絶対しないようにしてください。

飲酒運転をなくすため、

- 酒を飲んだら運転しない
- 運転するなら酒を飲まない
- 運転する人に酒をすすめない
- 飲酒運転を許さない

の「飲酒運転（四）しない運動」を、守りましょう。



食改おあめ チャレンジ!クッキング

♪ 朝ごはんを食べよう ♪ 親子とし

朝食は、野菜のおかずは敬遠されがち。そんな時、具たくさん汁物などで、野菜をたっぷり食べましょう。



朝食セットメニュー例
ごはん しじみの味噌汁
親子とし サラダ
りんご

◆材料（4人分）

鶏ささみ	120 g
ほうれん草	30 g
塩	少々
油揚げ（小）	2 枚
ニンジン	40 g
卵	4 個
砂糖	大さじ 2
しょうゆ	大さじ 2
みりん	小さじ 2
だし汁	1/2カップ
（ゴマ油 少々）	

◆作り方

- ①鶏ささみは、筋をとって削ぎ切りしておく。
- ②ニンジンは、千切りにしておく。
- ③ほうれん草は、塩少々を加えたたっぷりの湯で、さっと茹で、3～4 cmの長さに切っておく。
- ④油揚げは、熱湯をかけて油抜きをし、1～1.5 cm幅の短冊切りにする。
- ⑤なべに、だし汁と砂糖、しょうゆ、みりんを入れ煮立て、①②を加える。火が通ったら③④を加える。ひと煮立ちしたら、割りほぐした卵を流し入れ、半熟状に仕上げます。（好みで香りづけにゴマ油を数滴たらす。）

1人分の栄養素

エネルギー	150kcal
脂質	6.5 g
たんぱく質	14.8 g
塩分	1.1 g

江府町食生活改善推進協議会（本町1丁目）

世帯数1,169世帯（+2） 人口3,902人（+1） 男1,836人（-1） 女2,066人（+2）（ ）は前月比 11月末